

「発注関係事務の運用に関する指針」に基づく具体的な取組内容 (工事)

	必ず実施すべき事項	実施に努める事項
発注段階	① 予定価格の適正な設定 受注者への適正な利潤を確保 適正な工期を前提、最新の積算基準・単価	① 工事の性格等に応じた入札契約方式の選択・活用 適切な入札契約方式を選択 (総合評価落札方式の活用)
	② 歩切りの根絶 歩切りは品確法(第7条第1項第1号)に違反、行わない。	② 発注や施工時期の平準化 債務負担行為、余裕期間の設定、繰越(翌債)、発注時期の調整
入札	③ 低入札価格調査基準又は最低制限価格の設定・活用の徹底等(ダンピング受注防止) 低入札価格調査制度、最低制限価格制度の適切な活用。予定価格は、原則として事後公表。	③ 入札不調・不落時の見積り活用 標準積算と現場の施工実態の乖離が想定される場合は、見積りを活用し予定価格を適切に見直す。
工事	④ 適切な設計変更 設計変更ガイドラインの活用	④ 受注者との情報共有、協議の迅速化 三者会議、ワンデーレスポンス、4点セットの活用
その他	⑤ 適切な技術検査・工事成績評価等 各種技術検査、工事成績評価制度の活用	⑤ 完成後一定期間を経過した後における施工状況の確認・評価 必要に応じて完成後の一定期間を経過した後において施工状況の確認及び評価を実施する。
	⑥ 発注者間の連携体制の構築 地域発注者協議会、市町村等支援	
◆「⑥ 発注者間の連携体制の構築」については、「各部会、WGの開催」、「発注見通しの公表」で実施している。		◆「⑤ 完成後一定期間を経過した後における施工状況の確認・評価」については、今後検討する。 ◆北陸独自の取組みとして、「工事施工の円滑化4点セット」の活用を項目に追加する。

全機関(79機関)、64市町村(新潟・富山・石川)

1) 平成29年度取り組み目標(案)

○必ず実施すべき事項の目標と実績【工事編】

- | | | |
|------------------------|---|---|
| ① 全機関(79機関)..... | P | 1 |
| ② 64市町村(新潟・富山・石川)..... | P | 2 |

○実施に努める事項の目標と実績【工事編】

- | | | |
|------------------|---|---|
| ① 全機関(79機関)..... | P | 3 |
|------------------|---|---|

○必ず実施すべき事項の目標と実績【業務編】

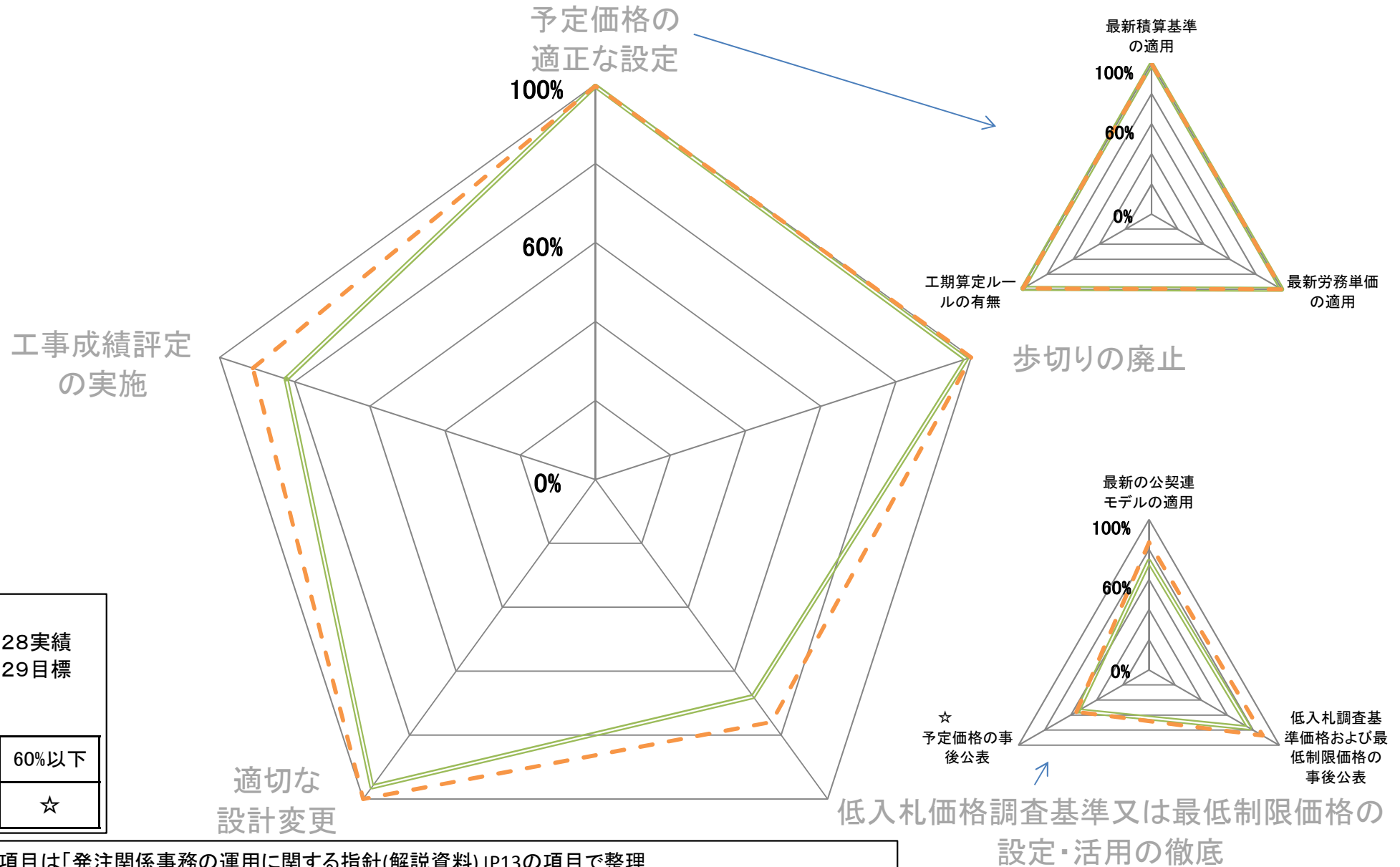
- | | | |
|------------------|---|---|
| ① 全機関(79機関)..... | P | 4 |
|------------------|---|---|

平成29年度 取り組み目標(案)(H28実績・H29目標)

【工事】

必ず実施すべき事項の目標と実績

全機関(79機関)



～凡例～

— : H28実績

- - - : H29目標

取組実績

40%以下	60%以下
☆☆	☆

(注)・図の項目は「発注関係事務の運用に関する指針(解説資料)」P13の項目で整理

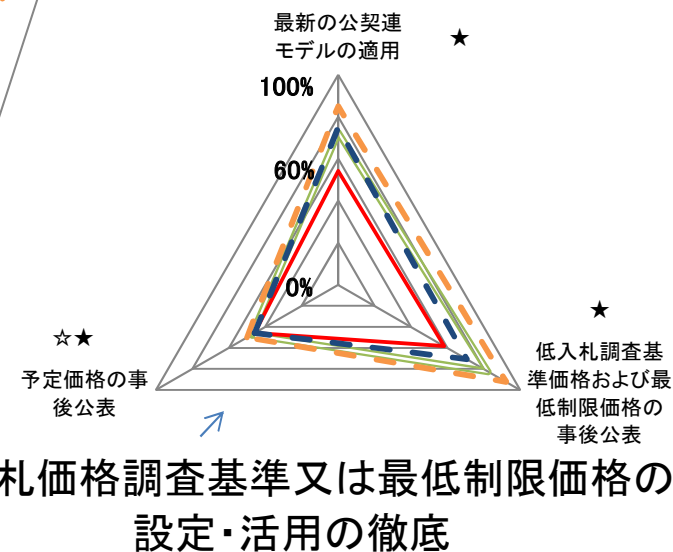
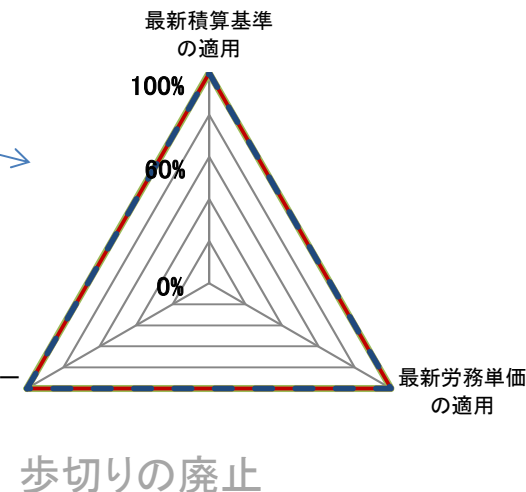
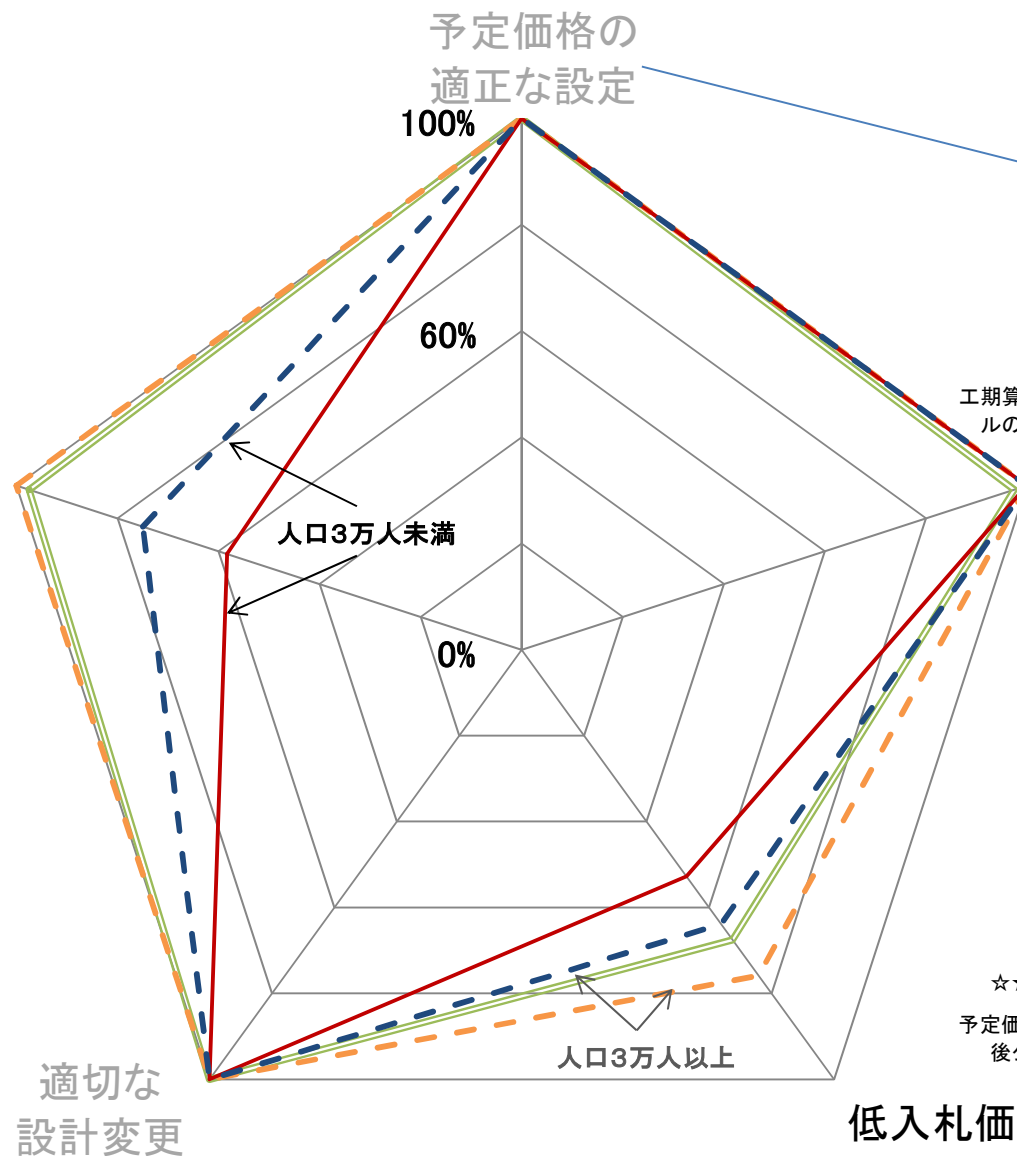
・各項目の % は、全機関の数で整理

・「発注者間の連携体制の構築」については、「各部会・WGの開催」、「発注見通しの公表」で実施している。

平成29年度 取り組み目標(案)(H28実績・H29目標)

【工事】 必ず実施すべき事項の目標と実績(人口規模別) 新潟・富山・石川合計(64市町村)

工事成績評定の
実施
★



～凡例～

- : H28実績(3万人以上)
- - : H29目標(")
- : H28実績(3万人未満)
- - : H29目標(")

取組実績	40%以下	60%以下
人口3万人以上	☆☆	☆
人口3万人未満	★★	★

(注)・図の項目は「発注関係事務の運用に関する指針(解説資料)」P13の項目で整理

・各項目の % は、全機関の数で整理

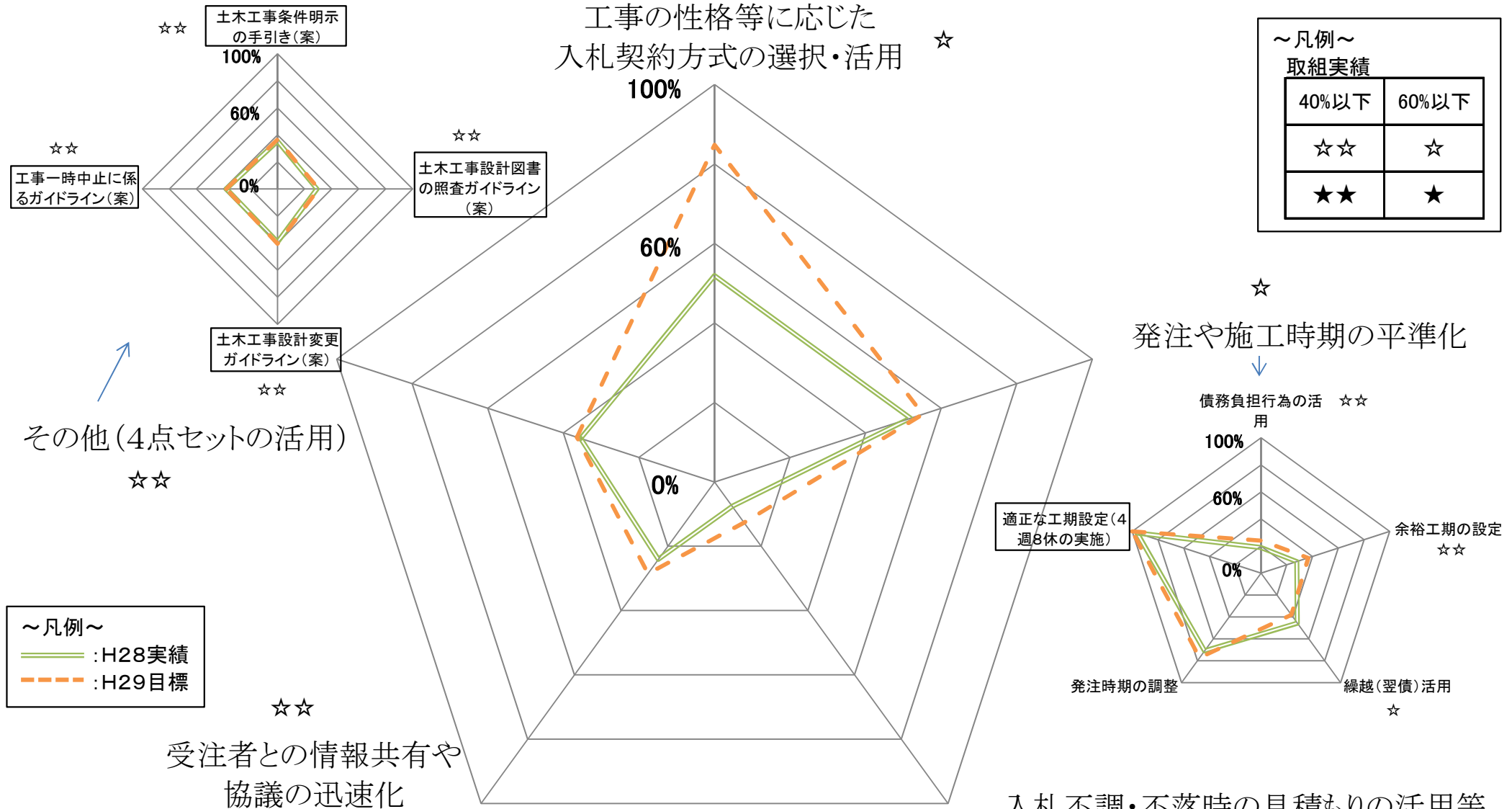
・「発注者間の連携体制の構築」については、「各部会・WGの開催」、「発注見通しの公表」で実施している。

平成29年度 取り組み目標(案)(H28実績・H29目標)

【工事】

実施に努める事項の目標と実績

全機関(79機関)



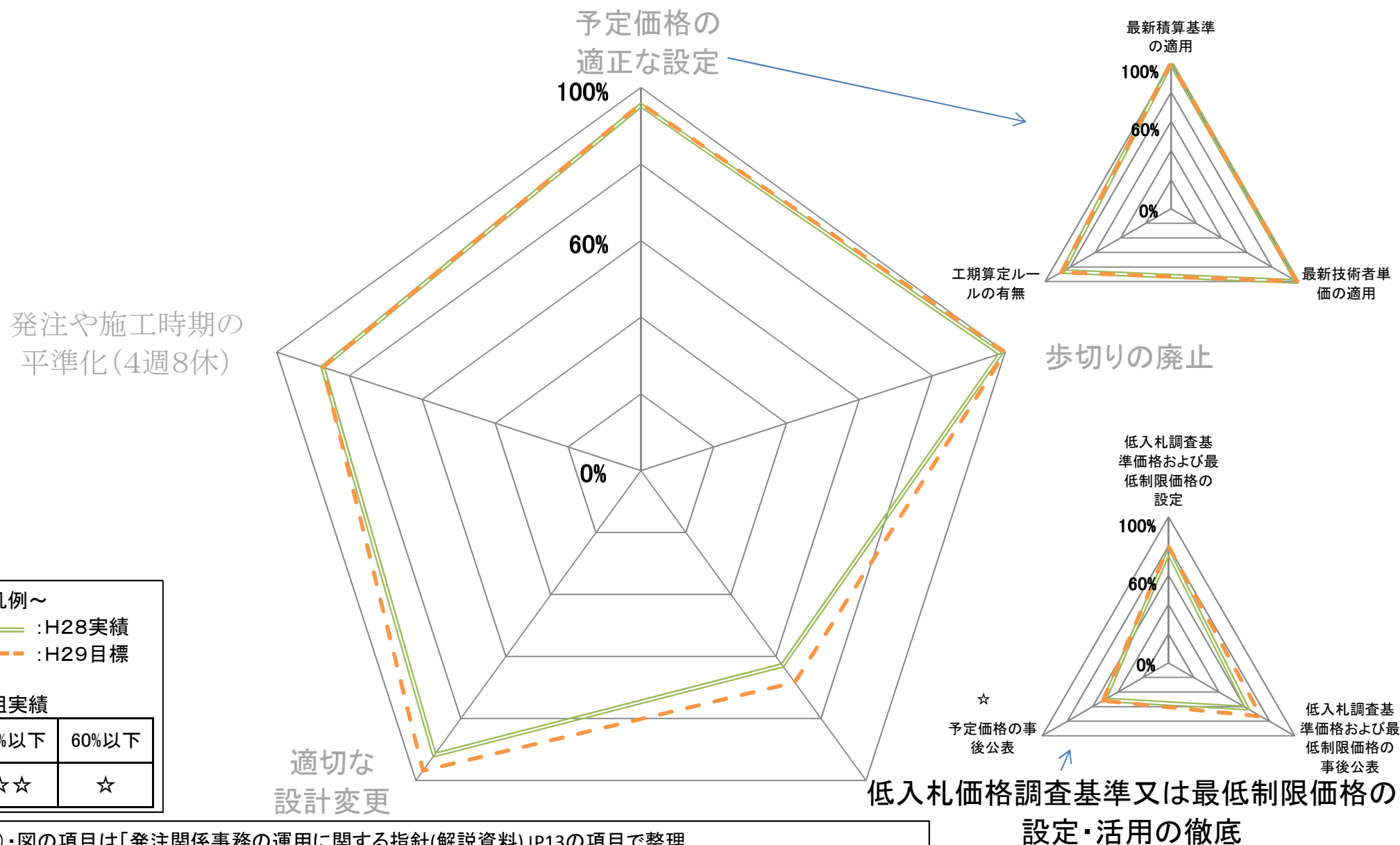
(注)・図の項目は「発注関係事務の運用に関する指針(解説資料)」P13の項目で整理
・各項目の % は、全機関の数で整理
・「完成後一定期間を経過した後における施工状況の確認・評価」の実施については、今後検討する。
・□ は、北陸独自の取組項目

【業務】

平成29年度 取り組み目標(案)(H28実績・H29目標)

必ず実施すべき事項の目標と実績

全機関(79機関)



(注)・図の項目は「発注関係事務の運用に関する指針(解説資料)」P13の項目で整理
 ・各項目の % は、全機関の数で整理
 ・「発注者間の連携体制の構築」については、「各部会・WGの開催」、「発注見通しの公表」で実施している。